

課題名	40. ビワのがんしゅ病と灰斑病の同時防除																																																																								
成果の要約	<p>ビワの2大病害であるがんしゅ病と灰斑病の同時防除剤としてカスミンボルドー水和剤1,000倍の防除効果と薬害の有無を検討した。</p> <p>(1) 袋かけ前(2月下旬)、収穫後(6月中旬)、芽かき後(7月中旬)、せん定後(8月下旬)のがんしゅ病防除時期の4回散布で高い防除効果を示した。また薬害については幼果期(2月4日)の散布で果実にわずかにみられたが実用的に問題はなかった。夏葉伸長期(6月20日)の散布では薬害はみられなかった。</p>																																																																								
成績概要	<p>表1 ビワの灰斑病とがんしゅ病の防除効果</p> <table border="1" data-bbox="199 742 1554 1127"> <thead> <tr> <th rowspan="2">供試薬剤</th> <th rowspan="2">がんしゅ病 発病枝率</th> <th rowspan="2">灰斑病 発病葉率</th> <th colspan="4">薬害発生</th> </tr> <tr> <th>果実</th> <th>春葉</th> <th>夏葉</th> <th>秋葉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>倍</td> <td>%</td> <td>%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>カスミンボルドー水和剤</td> <td>1000</td> <td>7.6</td> <td>8.9</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>コサイドボルドー</td> <td>1000</td> <td>5.4</td> <td>27.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>無散布</td> <td></td> <td>29.6</td> <td>35.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>散布月日：2月27日 6月15日 7月11日 8月28日</p> <p>表2 カスミンボルドー水和剤散布による薬害発生</p> <table border="1" data-bbox="199 1365 1554 1780"> <thead> <tr> <th rowspan="2">供試薬剤</th> <th colspan="2">果実薬害</th> <th colspan="2">夏葉薬害</th> </tr> <tr> <th>発生果率</th> <th>発生度</th> <th>発生葉率</th> <th>発生度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>倍</td> <td>%</td> <td>%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カスミンボルドー水和剤</td> <td>1,000</td> <td>5.7</td> <td>1.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>カスミンボルドー水和剤 (クレフノン×200)</td> <td>1,000</td> <td>6.7</td> <td>1.1</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>無散布</td> <td></td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>散布月日：幼果期2月4日 夏葉伸長期6月20日</p>	供試薬剤	がんしゅ病 発病枝率	灰斑病 発病葉率	薬害発生				果実	春葉	夏葉	秋葉		倍	%	%					カスミンボルドー水和剤	1000	7.6	8.9	-	-	-	-	コサイドボルドー	1000	5.4	27.8	-	-	-	-	無散布		29.6	35.1	-	-	-	-	供試薬剤	果実薬害		夏葉薬害		発生果率	発生度	発生葉率	発生度		倍	%	%		カスミンボルドー水和剤	1,000	5.7	1.0	0.0	カスミンボルドー水和剤 (クレフノン×200)	1,000	6.7	1.1	0.0	無散布		0.0	0.0	0.0
供試薬剤	がんしゅ病 発病枝率				灰斑病 発病葉率	薬害発生																																																																			
		果実	春葉	夏葉		秋葉																																																																			
	倍	%	%																																																																						
カスミンボルドー水和剤	1000	7.6	8.9	-	-	-	-																																																																		
コサイドボルドー	1000	5.4	27.8	-	-	-	-																																																																		
無散布		29.6	35.1	-	-	-	-																																																																		
供試薬剤	果実薬害		夏葉薬害																																																																						
	発生果率	発生度	発生葉率	発生度																																																																					
	倍	%	%																																																																						
カスミンボルドー水和剤	1,000	5.7	1.0	0.0																																																																					
カスミンボルドー水和剤 (クレフノン×200)	1,000	6.7	1.1	0.0																																																																					
無散布		0.0	0.0	0.0																																																																					

<p>成 績 概 要</p>	<p>(果樹試験場)</p>
<p>普及上の留意点</p>	<p>(1) 銅・カスガマイシン剤には他にカッパーシン水和剤があり、いずれも灰斑病に登録があり、平成3年2月にがんしゅ病に登録がとれた。果実横径が10 mm以上になると薬害が発生するので散布しない。</p>